



市内各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします。



5 雲仙・南島原保健組合公立新小浜病院が開院

2月22日、公立新小浜病院の完成を記念した開院式典が開催されました。

建物は鉄筋コンクリート造りの地上6階建、延べ床面積7,798.21平方メートルで、病床数150床を備えています。また、6階の屋上広場からは橘湾を一望することができます。地域医療を支える中核病院として、3月1日から開院しました（外来診療は3月2日から開始）。



7 趣向を凝らした“ひょうたん”が大集結

2月29日、3月1日の2日間、北有馬ピロティー文化センター日野江で、ひょうたん愛好家グループ「有馬愛瓢会」の主催による「第22回有馬ひょうたん展」が開催されました。

会員が趣向を凝らし、丹精を込めて手掛けた色鮮やかで大小さまざまなひょうたんが展示され、会場を彩りました。



6 雲仙・普賢岳噴火災害被災地からの恩返し

雲仙・普賢岳噴火災害により被災した大野木場小学校では、災害の記憶を風化させず後世へ伝承していくための取り組みを行っています。

これまで、全国の方々からお見舞いや激励をいただいた恩返しとして、児童が各家庭で不用になったアルミ缶を持ち寄り、リサイクル業者に買い取ってもらった収益金を全国の被災地へ寄附する活動を続けてきました。

今回、平成27年3月から令和2年3月までの収益金を、被災9年目となる東日本大震災の被災地へ義援金として寄附しました。なお、小学校は新型コロナウイルス対策で臨時休業中のため、児童に代わって児童会担当の久保田教諭が寄附を行いました。



1 新しい口之津港ターミナルがオープン

3月20日、口之津港ターミナルが新たにオープンしました。

この施設は、3月9日から開所した口之津支所のほか、フェリーターミナル、売店、食事処、口之津歴史民俗資料館、観光案内所などを集約した施設です。

また、施設の駐車場周辺には、地域の地域活性化グループ「みなとオアシスくちのつ運営協議会(塩田善之会長)」の会員の皆さんによって、ジャカラングの苗木が植栽されました。



2 鮮やかな作品が集まる～セミナリヨ現代版画展～

今年で19回目を迎える南島原市セミナリヨ現代版画展が2月22日、ありえコレジヨホールで開幕し、表彰式が行われました。

回を重ねるごとに応募数は増え、今回16,977点もの作品が全国から寄せられました。

小林忠良審査委員長は、「子どもたちの作品は、大人目から見るとびっくりするくらい驚きの作品ばかりだった。この版画展は、この国を代表する作家を育てる土壌にもなっていくだろう」と講評を述べました。



4 西南学院大学博物館との連携特別展を開催

2月6日から3月1日にかけて、口之津図書館で本市と西南学院大学博物館との連携特別展「碑に刻む―供養される霊魂たち―」を開催しました。

特別展は「復興」をテーマに、島原・天草一揆の寺社復興や戦没者の供養、島原大変肥後迷惑の犠牲者の供養に焦点をあてたもので、初公開資料や市内に現存する供養塔、墓石の拓本など約30点を展示しました。



3 新酒の香りに誘われて～ありえ蔵めぐり～

2月15日から16日にかけて、有家町の5つの蔵を中心に「ありえ蔵めぐり～春の陣～」が開催されました。

一足早い春を感じる「春の陣」。たくさんの方が有家のまち並みを散策し、店頭に並んだ新酒や手延そうめん、味噌、醤油などの特産品を買い求めていました。

また、それぞれの蔵に展示された鮮やかな百年蔵のひな飾りが、訪れた人の目を楽しませました。

いつまでもお元気で
～100歳おめでとうございます～

本多 正明さん(南有馬町)
大正9年2月28日生まれ

林 タミ子さん(加津佐町)
大正9年3月2日生まれ

松尾 チトさん(加津佐町)
大正9年3月14日生まれ

関 キミエさん(南有馬町)
大正9年3月18日生まれ

南島原タイムトリップ
～あの頃、君は若かった～

今月の写真 Q. さて、ここはどこでしょう？
A. 答えは次ページの下段をご覧ください。